
あの子と俺

チョコボール 2

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの子と俺

【Nコード】

N9409X

【作者名】

チヨコボール2

【あらすじ】

これは作者のノンフィクションを書いた小説です
読んでくれるとうれしいかな

学校

俺の名前は浅井貴文

もちろん偽名を使ってるwww

それじゃあ、俺のノンフィクションの話をする

K 高校・図書室・

ここは俺が通っている学校の図書室

俺はいつも通り友達とカードゲームで勝負してた

「これでダイレクトアタック！」

「チッ！また負けた」

俺はカードゲームが弱かったから負けてばっかだった

「おい！浅井もう時間やぞ！SHRが始まるで行くぞ！」

「あっ！俺めんどいしサボるわ」

俺はサボり癖が付いていたから学校の授業をサボってばっかだ
まあ、他にも理由があるからだ
その理由はまたの機会に言おう

そして俺はすることがなくボーッとしているとあるものに目が止まった

それはK高校が今年で80周年でその準備のために図書室でぬりえをしていた

「ねえ！暇なんやけどなんかすることない？」

「なら浅井先輩手伝ってよ！」

その中には仲の良い後輩もいて俺は話し掛けた

そして俺はそのぬりえをすることになった

まさか、そのぬりえの時に気になる人が出来るとはおもってもなかった

好きな人との出会い

俺はすることがなく図書室でボーッとしていて
ぬりえの手伝いをするようになった

「先に言っとくけど俺不器用やでな！」

俺はそんなことを言いながら（祝）という漢字を赤色マジックで塗
っていた

「浅井さんこのあと遊戯王しません？」

コイツは前の話しにも登場した後輩である
そうだな」君としておこう

「これが終わったらね」

俺は（祝）をラストスパートに差し掛かっていた

「先生！祝塗り終わったらなに塗れば良い？」

俺は祝を塗り終わり図書室の先生ことE先生に言った

「ならいちようよろしく」

「何色で塗れば良い？」

「黄色で塗ってくれればいいよ」

俺はそう聞くと黄色のマジックを探した

「えっと！黄色のマジックはと」

「ここにありますよ！」

俺は黄色のマジックを探していた

すると後輩（女子）が黄色のマジックを俺に差し出した

今の俺はこの子のことが好きになるとはおもってもなかった

だが、この時から妙にこの子のことが気になりだしたのである

恋

「はいっ！これどうぞ」

そういつてその子は俺に黄色いマジックをさしだした

「ありがとう！」

なんだろうこの気持ち

この時俺はちよつとドキドキしていた

これが恋だと気づくのはもう少し先の話である

そして俺は受け取った黄色いマジックでイチヨウを塗り始めた
そしてぬりえを開始して20分ぐらいの時間が経過した

「ああ！おわつたあ！」

俺は腕を伸ばして言った

「手伝ってくれてありがとうございました！」

そついうとその子はペコリと頭を下げた

一体何なんだろうこの気持ち

もうちよつと仲良くしたいなあこの時俺は思っていた

そしてその日その子は帰っていった
まあ、家近いんだけどねwww

翌日の放課後の図書室

俺はバイトが終わり急いで学校へ向かった
その日はまだバイトに慣れていない時で足がパンパンにはっていて
ちよつと学校へ着くのに時間が掛かった

そして俺は学校の図書室に着いた途端まず第1にあの子を探した
そして俺は図書室のカウンターでその子が居ることがわかりホッと
していた
ちなみにこの時すでに俺はあの子のことが好きなんだと確信して
いたのである

まあ

今回のお話はこの辺りにしておこう
ちなみにネタバレになるけど作者は今この小説のヒロインとなるか
たとお付き合いをしています
はいどうでもいいですねwww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9409x/>

あの子と俺

2011年10月30日21時22分発行